

East Asian Social Survey 2010 Health Module の作成 (2)

- 日韓中台のプリテストに基づく調整 -

三輪 加奈
大阪商業大学 JGSS 研究センター

岩井 紀子
大阪商業大学総合経営学部

Development of East Asian Social Survey 2010 Health Module (2):
Adjustments based on the Pretests in Japan, Korea, China and Taiwan

Kana MIWA
JGSS Research Center
Osaka University of Commerce

Noriko IWAI
Faculty of Business Administration
Osaka University of Commerce

We outline the process of developing a cross-national questionnaire for the East Asian Social Survey (EASS) 2010 “Health and Society in East Asia (Health Module)”. In particular, we will present the process of questionnaire revisions from the Drafting Group Meeting at Beijing, China, in May 2009 to date. Since the research backgrounds and situations related to health are different among EASS teams, the drafting process of the Health Module was not straightforward. With thorough debates, we could finalize the EASS 2010 Health Module questionnaire. We are now ready to conduct the survey.

Key Words: EASS, cross-national study, Health Module

本稿の目的は、「東アジアの健康と社会(Health and Society in East Asia)」がテーマである、2010年の東アジア社会調査(EASS 2010)における、Health Module(健康モジュール)の調査票の最終確定までの過程を整理することである。本稿では、2009年5月に北京で開催された会議以降の議論についてまとめる。日本・韓国・中国・台湾の、各チームの背景や健康に関する状況が異なるために、作成過程ではいくつかの方向性が混在したが、徹底的に協議を重ねたことで、調査票の最終的な合意に至った。あとは、各チームの本調査の実施を待つばかりである。

キーワード：EASS，国際比較，健康モジュール

1. はじめに

東アジア社会調査 (East Asian Social Survey、以下 EASS) は、日本・韓国・中国・台湾が共同で進める社会調査プロジェクトであり、4 カ国・地域共通の設問群 (モジュール) を設定することで、東アジア社会に特有の問題や関心にもとづく国際比較分析が可能な公開データの構築を目的としている⁽¹⁾。EASS は、各国・地域の総合的社会調査を担う研究プロジェクトから構成され、日本は Japanese General Social Surveys (JGSS; 大阪商業大学 JGSS 研究センター)、韓国は Korean General Social Survey (KGSS; 成均館大学サーベイ・リサーチ・センター)、中国は Chinese General Social Survey (CGSS; 中国人民大学社会学系・香港科技大学調査研究中心)、台湾は Taiwan Social Change Survey (TSCS; 中央研究院社会学研究所) がこれにあっている。以下、本稿ではこれら 4 カ国・地域のチームを JGSS (日本チーム)、KGSS (韓国チーム)、CGSS (中国チーム)、TSCS (台湾チーム) で表す。

2003 年にスタートした EASS のプロジェクトは、2006 年から 2 年に 1 回のペースで調査を実施している。EASS では、調査ごとにテーマを定め、第 1 回調査である EASS 2006 は「東アジアの家族 (Families in East Asia)」、第 2 回調査の EASS 2008 は「東アジアの文化とグローバル化 (Culture and Globalization in East Asia)」、そして本稿で取り上げる第 3 回調査の EASS 2010 は「東アジアにおける健康と社会 (Health and Society in East Asia)」となっている。また、2012 年に実施予定の EASS 2012 のテーマは、「東アジアの社会関係資本 (Social Capital in East Asia)」に決定している。

EASS 調査は、それぞれの国・地域で調査を実施したのち、4 チームのデータを統合して、East Asia Social Survey Data Archive (EASSDA) でデータセットを公開することとなっている。EASS 2006 のデータセットは、2009 年 2 月からすでに公開されている。また、EASS 2008 については、現在、統合データのクリーニングが進められており、2010 年 12 月に公開予定である (EASS 2008 の基礎集計表となるコードブックは、2010 年 3 月に刊行)。

EASS 2010 の Health Module (以下、健康モジュール) は、2007 年 7 月に開催された香港 General Meeting (全体会議) において、そのテーマが決定された。その後、6 回にわたる会議を経て、最終的な調査票の確定に至った。JGSS・KGSS・CGSS の 3 チームは 2010 年内に、TSCS は 2011 年に本調査を実施する予定である。健康モジュールの作成と調査の実施にあっている各チームのメンバーを、表 1 に示す。

EASS 2010 のテーマ決定からサブ・トピックの選定と設問の採択を経て、JGSS が 2009 年 1 月に第 1 回目のプリテストを実施するまでの作成過程については、埴淵 (2009) に詳しくまとめられている。本稿では、JGSS 第 1 回プリテストの結果を資料としながら議論が行われた、2009 年 5 月の中国・北京での Drafting Group Meeting (作成部会) から、EASS 2010 健康モジュールの調査票の最終確定までの経過をまとめる。

なお、EASS では、事務局と各モジュールの議長 (convener) を、4 チームが順番に務めることになっており、EASS 2010 健康モジュールの議長は、JGSS の小島宏 (早稲田大学社会科学総合学術院・教授) が務めた。また、健康モジュールの作成時期にあたる 2008 年～2009 年の事務局は JGSS が担当し、事務局長は岩井紀子 (大阪商業大学総合経営学部・教授、JGSS 研究センター・センター長) であった。

本稿の構成は次の通りである。第 2 節では、EASS 2010 の調査票作成のスケジュールについて概観する。第 3 節では、各チームが実施したプリテスト (JGSS は第 2 回目) の調査票の内容を詳しく述べる。続く第 4 節では、プリテストの結果の提示と、EASS 2010 健康モジュール調査票に最終的に確定した設問を示し、最後に、第 5 節で EASS 2010 実施の意義とデータ公開のスケジュールを示す。

2. EASS 健康モジュール作成スケジュール

EASS 2010 全体のスケジュールは、表 2 に示している通りである。2007 年 7 月の香港会議において、EASS 2010 のテーマが「健康」に決定して以来、各チーム内での検討と、4 チームでの会議や電子メールによるやりとりを通して、2 年以上にわたり議論が重ねられた。JGSS が 4 チームの中でもっとも早く、2010 年 2 月から本調査を開始するため、それに合わせたスケジュールで準備が進められ、2009

年 11 月の台北会議で健康モジュールの大部分が確定された。その後、電子メールでのやり取りにより、若干の修正が加えられ、2010 年 1 月に EASS 2010 健康モジュールの調査票がほぼ確定した。

表 1 EASS 2010 実施メンバー

チーム	氏名	所属
JGSS	TANIOKA, Ichiro 谷岡 一郎	President, Professor, Osaka University of Commerce 大阪商業大学 学長・教授
	NITTA, Michio 仁田 道夫	Professor, Institute of Social Science, The University of Tokyo 東京大学社会科学研究所 教授
	MAEDA, Yukio 前田 幸男	Associate Professor, Interfaculty Initiative in Information Studies, Adjunct Associate Professor, Institute of Social Science, The University of Tokyo 東京大学大学院情報学環(社会科学研究所と兼任) 准教授
	IWAI, Noriko 岩井 紀子	Director, JGSS Research Center 大阪商業大学JGSS研究センター長・総合経営学部 教授
	YASUDA, Tokio 保田 時男	Research Fellow, JGSS Research Center Associate Professor, Faculty of Business Administration, Osaka University of Commerce 大阪商業大学JGSS研究センター 研究員・総合経営学部 准教授
	SHISHIDO, Kuniaki 宍戸 邦章	Research Fellow, JGSS Research Center Lecturer, Faculty of Business Administration, Osaka University of Commerce 大阪商業大学JGSS研究センター 研究員・総合経営学部 講師
	KOJIMA, Hiroshi 小島 宏 *EASS 2010 議長	Professor, Faculty of Social Sciences, Waseda University 早稲田大学社会科学総合学術院 教授
	SASAKI, Takayuki 佐々木 尚之	Associate Research Fellow, JGSS Research Center, Osaka University of Commerce 大阪商業大学JGSS研究センター 主任研究員
	NAKAYA, Tomoki 中谷 友樹	Associate Professor, College of Letters, Ritsumeikan University 立命館大学文学部 准教授
	MURATA, Chiyoie 村田 千代栄	Assistant Professor, Department of Community Health and Preventive Medicine, Hamamatsu University School of Medicine 浜松医科大学健康社会医学 助教
	TAKEGAMI, Misa 竹上 未紗	Program-Specific Assistant Professor, Graduate School of Medicine, Kyoto University 京都大学大学院医学研究科 特定助教
	HANIBUCHI, Tomoya 埴淵 知哉	Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science (PD) / Ritsumeikan University 日本学術振興会PD研究員・立命館大学
	MIWA, Kana 三輪 加奈	Postdoctoral Fellow, JGSS Research Center, Osaka University of Commerce 大阪商業大学JGSS研究センター ポスト・ドクトラル研究員
KGSS	KIM, Sang-Wook 金 相旭	Professor, Department of Sociology, Sungkyunkwan University 成均館大学社会学部 教授
	KIM, Seokho 金 碩鎬	Assistant Professor, Department of Sociology, Sungkyunkwan University 成均館大学社会学部 助教授
	PARK, Jae-Hyun 朴	Assistant Professor, Department of Social and Preventive Medicine, School of Medicine, Sungkyunkwan University 成均館大学医学部 助教授
	KIM, Jibum 金	Research Scientist, National Opinion Research Center, University of Chicago シカゴ大学NORC リサーチサイエンティスト
CGSS	BIAN, Yanjie 邊 燕杰	Professor, University of Minnesota ミネソタ大学社会学部 教授 Dean, School of Humanities and Social Science, Xi'an Jiaotong University 西安交通大学人文社会科学学院 院長
	LI, Lulu 李 路路	Professor, Department of Sociology, Renmin University of China 中国人民大学社会学系 教授
	WONG, Raymond 黄 善國	Head and Professor, Division of Social Science, Hong Kong University of Science and Technology 香港科技大学社会学部 主任兼教授
	HAO, Dahai 郝 大海	Professor, Department of Sociology, Renmin University of China 中国人民大学社会学系 教授
	WANG, Weidong 王 衛東	Assistant Professor, Department of Sociology, Renmin University of China 中国人民大学社会学系 助理教授
	YANG, Juhua 楊 菊華	Professor, Center for Population and Development Studies, Department of Demography, Renmin University of China 中国人民大学人口学系 教授
TSCS	CHANG, Ying-Wha 章 英華	Research Fellow, Institute of Sociology, Academia Sinica 中央研究院社會學研究所 研究員
	CHANG, Ly-Yun 張 苙雲	Research Fellow, Institute of Sociology, Academia Sinica 中央研究院社會學研究所 研究員
	FU, Yang-chih 傅 仰止	Research Fellow, Institute of Sociology, Academia Sinica 中央研究院社會學研究所 研究員
	TU, Su-Hao 杜 素豪	Associate Research Fellow, Center for Survey Research, Research Center for Humanities and Social Sciences, Academia Sinica 中央研究院人文社會科學研究中心調查研究專題中心 副研究員
	CHEN, Duan-Rung 陳 端容	Associate Professor, Institute of Health Care Organization Administration, College of Public Health, National Taiwan University 國立臺灣大學公共衛生學院醫療機構管理研究所 准教授

注：2009 年 12 月現在の所属

今回の調査票作成の過程は、以下の事情により困難を極めた。日本以外の3チームは、大規模な国際調査である ISSP (International Social Survey Programme) プロジェクトに参加しており、EASS 2010 のテーマが「健康」に決まった後、ISSP 2011 のテーマも「健康」に決定した。各チームの対応としては、CGSS は EASS の健康モジュールは CGSS 2010 に、ISSP の健康モジュールは CGSS 2011 に組み込むことに決めたが、KGSS は EASS と ISSP の両方の健康モジュールを KGSS 2010 の調査票に、TSCS も両方のモジュールを TSCS 2011 の調査票にそれぞれ組み込むこととした。このような事情から、EASS の設問・トピックは、なるべく ISSP の設問と重複させないことを目指したが、どうしても重複する場合には、むしろ同一の形式で尋ねる方向で調整をした。なお、日本では、ISSP は NHK 世論調査部が担当している。

ISSP 2011 に関しては、2009 年 5 月の EASS 北京会議開催前の時点でサブ・トピックが決定され、11 月の台北会議時には設問候補がまとめられていた。EASS では、それらを参照しながら、設問の作成を進めた。しかし、ISSP 2011 の健康モジュールは、JGSS が本調査を終える 2010 年 5 月に最終的に確定するため、EASS と ISSP で重複する設問について、韓国と台湾は ISSP の形式に変更することもありうる。そのような場合には、4 チームでの比較が、一部の設問で出来なくなる可能性が残されている。

表2 EASS 2010 スケジュール

日程	名称 (開催地)	内容
2007 年 7 月	EASS GM (香港)	テーマの決定 [JGSS 参加メンバー：谷岡・仁田・小島・前田・岩井]
2007 年 11 月	EASS DGM (大阪)	スケジュールの提示
2008 年 3 月	EASS DGM (東京)	スタンスと方向性に関する議論
2008 年 3 月	JGSS 事務局会議、JGSS 全体会議	社会科学的なアプローチに関する議論
2008 年 5 月	JGSS 事務局会議	JGSS 提案設問の素案の検討
2008 年 6 月	EASS DGM (大阪)	調査の時期と方法についての状況確認
2008 年 11 月	EASS 2010 日本チーム研究会	JGSS 提案設問の方向性の確認
2008 年 11 月	EASS GM (ソウル)	各チームからの提案設問の検討 [JGSS 参加メンバー：谷岡・仁田・小島・村田・前田・岩井]
2009 年 1 月	JGSS 第 1 回プリテスト	大阪府東大阪市、20~89 歳の男女個人 300 人、2 段無作為抽出法、郵送法
2009 年 2 月	EASS 2010 日本チーム研究会	JGSS 第 1 回プリテストの結果報告
2009 年 5 月	EASS DGM (北京)	設問の選択 [JGSS 参加メンバー：谷岡・仁田・小島・村田・前田・岩井]
2009 年 6 月	EASS 2010 日本チーム研究会	北京会議の決定事項確認、第 2 回プリテスト調査票の確定
2009 年 8 月	JGSS 第 2 回プリテスト	大阪府東大阪市、20~89 歳の男女個人 400 人、2 段無作為抽出法、郵送法 (A・B 票の 2 種類の調査票で実施、B 票が EASS 設問中心)
2009 年 10 月	CGSS プリテスト	北京市、18 歳以上の男女個人 318 人、2 段階抽出法、家計調査法
2009 年 10 月	TSCS プリテスト	台湾、18 歳以上の男女個人 1200 人、層化 3 段階抽出法、電話調査
2009 年 10 月	KGSS プリテスト	ソウル特別市、18~80 歳の男女個人 52 人、割当抽出法、面接調査法
2009 年 10 月	EASS 2010 日本チーム研究会	JGSS 第 2 回プリテストの結果報告
2009 年 11 月	EASS GM (台北)	調査票の確定 (暫定) [JGSS 参加メンバー：仁田・小島・村田・岩井]
(以下は予定)		
2010 年 2 月	JGSS-2010 調査実施	全国、20~89 歳の男女個人 9,000 人、層化 2 段無作為抽出法、面接法と留置法を併用；留置票は 2 種類 (留置 B 票に EASS 「健康モジュール」を組み込む)
2010 年 7 月	KGSS 2010 調査実施	-
2010 年 9 月	CGSS 2010 調査実施	-
2011 年 7 月	TSCS 2011 調査実施	-

注：GM は General Meeting (全体会議)、DGM は Drafting Group Meeting (作成部会) の略称。

3. 北京会議での議論と JGSS 第 2 回プリテストの作成

EASS 2010 は、2008 年 11 月に韓国・ソウルで開催された General Meeting で調査票の骨格が確定し、それをベースとして、JGSS は 2009 年 1 月に他チームに先駆けて第 1 回プリテストを実施した。既述のように、JGSS 第 1 回プリテスト実施までの各国の提案設問や調査票の設計に関わる議論、および第 1 回プリテストの結果については、埴淵（2009）にまとめられているため、ここで詳しく述べることはせず、本稿では、それ以降から調査票の最終確定までの経過について整理していく。

JGSS 第 1 回プリテスト実施後には、2009 年 5 月に中国・北京で Drafting Group Meeting が開催され、JGSS のプリテストからの結果を資料としながら、議論が行われた。北京会議での決定事項は、JGSS 第 2 回プリテストと他の 3 チームのプリテストの調査票に反映されているため、以下では、JGSS 第 2 回プリテストの調査票（B 票）を資料としながら、当該設問に決定された経緯や意図、問題点などについて順を追って説明する。なお、表 3 に JGSS 第 2 回プリテストの設問一覧を示し、プリテスト調査票は本文の後（付録 1）に掲載している。

表 3 JGSS 第 2 回プリテスト（B 票）の設問一覧

健康状態		15-3	多量飲酒	28A	近隣環境：散歩
1	SF-12v2：全体的健康感	16	運動	28B	近隣環境：果物・野菜の入手
2A	SF-12v2：身体機能	17	健康診断	28C	近隣環境：助け合い
2B	SF-12v2：身体機能	医療・保険		28D	近隣環境：つきあい
3A	SF-12v2：日常役割機能（身体）	18	通院頻度	28E	近隣環境：信頼
3B	SF-12v2：日常役割機能（身体）	19A	医療を受けられない不安	健康問題	
4A	SF-12v2：日常役割機能（精神）	19B	医療費を払えない不安	29	インフルエンザ：予防接種
4B	SF-12v2：日常役割機能（精神）	20-1	通院を控えた経験	30	インフルエンザ：新型大流行の不安
5	SF-12v2：体の痛み	20-2	通院を控えた理由	31-1	家族のケアの必要性
6A	SF-12v2：活力	21	医療保険への加入状況	31-2	家族へのケアの提供
6B	SF-12v2：活力	22A	代替医療：鍼（灸）	精神的健康	
6C	SF-12v2：心の病気	22B	代替医療：漢方薬	32A	精神的健康：性格上の問題
7	SF-12v2：社会生活機能	22C	代替医療：指圧・マッサージ	32B	精神的健康：脳の病気・障害
8A	絶望感：将来の希望	社会的サポート・信頼		32C	精神的健康：育ち方
8B	絶望感：目標の達成	23-1	情緒的サポートの有無	32D	精神的健康：ストレス
9	皮膚のかゆみ ^{a)}	23-2	情緒的サポートの提供者	32E	精神的健康：遺伝的な問題
10	診断の有無：高血圧	24-1	経済的サポートの有無	32F	精神的健康：運命
11	診断の有無：慢性的な病気	24-2	経済的サポートの提供者	32G	精神的健康：偶然
12	身長	25-1	手段的サポートの有無	基本属性	
13	体重	25-2	手段的サポートの提供者	33	性別
健康行動		26	人間観（一般）：人は信用できる	34	年齢
14-1	喫煙経験	環境		35	家族構成
14-2	喫煙状況	27A	大気汚染	36	学歴
14-3	喫煙期間	27B	水質汚染	37-1	従業上の地位
15-1	飲酒頻度	27C	騒音被害	37-2	職種
15-2	飲酒量	27D	日照被害 ^{a)}		

^{a)}この 2 つの設問は、EASS の設問ではなく JGSS にのみで実施。

3.1 健康状態

EASS 2010 健康モジュールのもっとも基礎的な変数となる、健康状態に関するアウトカム指標には、身体的・精神的健康を含めた包括的な健康状態を測る指標であり、本調査で利用予定の、SF-12v2 をプリテストでも実施した。SF-12 は、健康関連 Quality of Life (QOL) の包括的尺度である、SF-36 (Medical Outcomes Study 36-Item Short Form Health Survey) の短縮版で、国際的にも利用されている尺度であることから（竹上・福原 2009）、他の調査との比較も可能となりうる⁽²⁾。

また近年、健康状態や病気（またはそれになる可能性）と、精神的健康としての「絶望感

（Hopelessness）」との関連性が指摘されているため（Whipple, et al. 2009 ほか）、JGSS では絶望感に関する 2 問を、北京会議で新たに提案し、採択が決定された。この設問の回答の尺度については、原著論文の尺度と同じく 5 点とするべきか、EASS での意識項目の尺度として用いることの多い 7 点にするべきかを確認する必要性が指摘された。そこで、JGSS プリテストでは 2 種類の調査票を用いる split-ballot の方式で、回答の分布を確認することとなった。

次に、現在の健康状態に大きく影響する要素である、治療中の疾患に関する設問としては、4 カ国・地域で共通して比較的多くみられる疾患である、「高血圧」のみを具体的に取り上げ、高血圧とその他の慢性的な病気について、医師にそうと診断されたことがあるかどうかを尋ねることが決められた。また、今回のプリテストにも、身長・体重を尋ねる設問を組み込んだ。

3.2 健康行動

プリテストでは、喫煙に関して、はじめに喫煙経験の有無を尋ね、続く付問のなかで、現在の喫煙状況と毎日喫煙している（いた）期間を尋ねた。飲酒については、世界保健機関（WHO）により作成された問題飲酒指標である AUDIT（The Alcohol Use Disorders Identification Test）の設問（Babor, et al. 2001）から、飲酒の頻度、飲酒量、多量飲酒の頻度を尋ねる 3 問を実施した。飲酒量の設問は、同じものが JGSS 第 1 回プリテストにもすでに組み込まれていたが、アルコール含有飲料の種類と量にもとづき、その単位を計算し回答をする形態をとるため、全チームがプリテストを実施することで、各国・地域の回答状況を確認することとなった。

また、喫煙・飲酒以外の、健康行動に関連する設問として、運動習慣（頻度）と健康診断の受診状況についての 2 問が採択された。

3.3 医療・保険

JGSS 第 2 回プリテストでは、第 1 回プリテストの医療関連設問から入院頻度の設問を除き、通院頻度と医療アクセス・医療不安の問題に関する設問、および通院を控えた経験の有無とその理由（JGSS は、理由を 1 つのみ選択する形式を採用）を尋ねる設問を組み込んでいる。これらの設問は JGSS が提案したものであり、その背景には、近年日本で社会問題化している医療不安や医療アクセスの問題があるが、EASS 設問として採択されたことで、日本のみならず、他国・地域の現状を確認することができ、かつ国際的な比較分析も可能になるものと期待される。

医療保険については、各国・地域で制度が異なるため、共通の設問を設計することが可能かどうか論点となっていた。協議の結果、加入している医療保険の種類だけであれば、共通して尋ねることができるという結論に至り、そのような設問が採用された。

3.4 社会的サポート・信頼

これ以降の設問は、回答者を取り巻く社会や、居住地域の環境、または健康問題に関する設問が中心となっている。

はじめに、社会的サポート（social support）については、2009 年 5 月の北京会議においても、それまでの議論通り、社会的なサポート関係そのもの（詳細な情報）には踏み込まず、最低限必要であると考えられる、情緒的・経済的・手段的サポートを受けた経験と、そのサポートの提供者についての 6 問のみを組み込むことが確認された。

また、社会的な信頼についての一般的信頼感の 1 問は、回答の選択肢が「はい」「いいえ」「場合による（Depends）」の 3 点尺度であり、回答の偏りが懸念される（特に日本と台湾では、「場合による」に回答が集中することが予想される）ことから、回答項目から「場合による」を除くほうが望ましいとされ、そうした場合の分布（特に無回答の増加の有無）をプリテストで確認することとなった。

3.5 環境

環境については、特に回答者の居住地域・近隣地域のそれについて尋ねる設問が主となった。環境の公害・汚染に関する設問は、その項目として、大気汚染・水質汚染・騒音被害の3つの公害・汚染が決定されていた。その被害の程度を測るスケールには、JGSS が第1回プリテストで実施し、北京会議で提案をした4点尺度が採用されることとなった。また、JGSS は日本の居住環境に照らして、日照被害についても尋ねることとする。

地域の社会経済的な環境については、北京会議の際に TSCS が、Mujahid et al. (2007) の研究を参考に提案した近隣環境に関する5問が採択された。

3.6 健康問題

健康問題に関して、インフルエンザの予防接種を受けているかどうかと、新型インフルエンザ (new strain of influenza) の流行に対する不安感の2問が採択された。当初、新型インフルエンザについては、設問を提案した日本以外の国・地域ではまだそれほど知られておらず、「新型インフルエンザ」が何を指すのか、回答者が分からない可能性が指摘され、「深刻な感染症」という表現を用いた方がよいとされた。しかし、北京会議直前の2009年5月から始まった新型インフルエンザの世界的な大流行を受け、大多数の回答者がすでにそれを認識していると考えられることから、「深刻な感染症」ではなく、「新型インフルエンザ」という用語を用いることとなった。

また、家族のケア（介護）については、各国・地域によって介護の状況が異なるという問題と、モジュールの分量の制約の問題から、共通で尋ねることができる最低限の設問として、家族の中にケアを必要とする人の有無と、回答者が主にケアをしているかどうかを問う、2問のみを組み込むことが決定された。

3.7 精神的健康

最後に、北京会議の際に、KGSS から提案された精神的健康に関するエピソード (vignette) を用いた設問を、プリテストでは実施することとなった。これはアメリカの GSS 2006 で尋ねられた精神的健康問題に関する設問の一部を抜粋したものである。JGSS は留置調査票の中で尋ねるが、日本以外の3チームは、面接調査で調査員がエピソードを読み上げることや、尋ね方・表現の仕方によっては質問（回答）が困難であると考えられるため、各国がプリテストで回答状況を確認することとなった。なお、JGSS 第2回プリテストでのこの設問の日本語訳は、望月ほか（2008）を参照した。

4. JGSS 第2回プリテストの実施

4.1 プリテストの概要

JGSS 第2回プリテストは、大阪府東大阪市に居住する20～89歳の男女から、2段階抽出した個人400人を対象に、2009年8月に郵送法で実施した。調査には、A票とB票の2種類の調査票を用い、それぞれ200人に対して実施した。本稿で示しているEASSの健康モジュールは、B票に組み込まれているため、本稿ではB票の結果のみを取り上げる。なお、A票・B票を合わせた有効回収数は196（A票97・B票99）で、回収率は49.0%（ $=196/400 \times 100$ ）であった⁽³⁾（調査票のB票は付録1に掲載している）。

他の3チームは、CGSSとTSCSが2009年10月に、KGSSは10月末～11月はじめにかけて、それぞれ第1回目のプリテストを実施している。

4.2 プリテストの結果と調査票の確定 - 台北会議（2009年11月） -

JGSS を含めた、各チームでのプリテストで得られた回答の度数分布は、付録2に示している⁽⁴⁾。以下では、JGSS 第2回プリテストの調査結果を中心に、各国のプリテスト後の2009年11月に開催された台北会議での設問の改訂に関する議論と、そこで示された修正案を、プリテストの調査票の順に沿

って整理をしていく。

はじめに、基礎的な健康状態を尋ねる SF-12v2 については、特に問題は認められず、JGSS と CGSS、KGSS の 3 チームは、本調査でもそのままの形式で挿入することが確認された。TSCS については、EASS と同時に実施する ISSP の質問を優先して挿入することとなった。

絶望感については、JGSS が提案した通りに 2 問が採択された。回答の尺度は、Whipple, et al. (2009) などの既往研究との比較可能性も考慮し、5 点とすることが決められた。

慢性疾患の設問については、高血圧と（種類にかかわらず）その他の慢性疾患の有無を尋ねる問題から、はじめに「慢性的な病気または長期にわたる健康上の問題」の有無を問い、その後、付問でその種類を尋ねる設問に修正された。疾患の種類として「高血圧・糖尿病・心血管疾患・呼吸器疾患」は 4 カ国共通で組み込まれ、その他の種類については、各チームが各国・地域の状況を考慮しながら疾患等を追加していく。

回答拒否が懸念された、身長と体重を尋ねる設問については、JGSS プリテストでは無回答が約 5% であったが、KGSS と CGSS では無回答がゼロであったことから、各国・地域でも本調査で実施することは問題がないと判断された。身長・体重を具体的な数値で尋ねることで、体格指数 (Body Mass Index: BMI) の算出が可能となる。

次に、健康行動としての喫煙に関しては、トピックが重複した ISSP の質問形式を考慮し、本調査では、喫煙頻度と（毎日かどうかにかかわらず）喫煙している（／していた）年数を尋ねることになった。また、飲酒と運動習慣についても、同様のスケールで頻度のみを尋ねる設問が採択された。健康診断については、「過去 3 年間に、（定期的か不定期にかかわらず）健康診断を受けたかどうか」を問う設問を、JGSS と KGSS および CGSS の 3 チームが組み込むことで合意された。

通院頻度の、「病院や診療所に行きましたか」という尋ね方は、例えば医師による自宅への訪問診療などを利用した場合には、これには該当しないと受け取られる可能性が指摘されたため、「医師の診断を受けましたか」というように、表現を修正することとなった（なお、通院頻度の設問について、KGSS・CGSS・TSCS の 3 チームは ISSP の設問に準ずる）。この表現に合わせ、通院を控えた経験の設問も「医師の診断を受けることを控えたことがありますか」と修正した。またそれに続く付問である通院を控えた理由については、複数の理由により控えている（例えば、待ち時間が長くて、かつ費用もかかるから医師の診断を受けることを控えるなど）可能性が十分に考えられることから、より多くの情報を得るためにも、複数の理由を回答してもらうことで全チームが合意した。

医療不安と医療保険への加入状況、および代替医療に関する設問は、プリテストとほぼそのままの形式で本調査を実施することが確認された。

社会的サポートの設問については、JGSS はプリテストと同じ設問を用い、他の 3 チームは、誰がどんな内容に対するサポートを、どのくらいしてくれているかを尋ねる設問を組み込むこととなった。JGSS は他の 3 チームと質問形態が異なるものの、社会的サポートに関する一部の情報は、4 チームで比較可能であると考えられる。

一般的な信頼感については、プリテストの結果より、回答項目から「場合による」を除いたことによる回答拒否の増加は特にみられていない。しかし、この質問形式では分析研究に利用しにくいことが指摘された。そのため、「一般的に、人は信頼できると思いますか、それとも用心するに越したことはないと思いますか」という、アメリカの GSS が毎年尋ねている形式の、回答スケールが 4 点の設問に変更することとなった。

大気・水質汚染と騒音・日照被害の居住地域の環境設問については、プリテストと同様の形式で実施することが決まり、近隣の社会経済的な環境に関する設問は、「つきあい」と「信頼」に替えて、「公共施設の充実」と「安心感」「気配り」の 3 項目を新たに追加することになった。

健康問題に関連する、インフルエンザ設問の、予防接種についてはプリテストと同様に、また、「新型インフルエンザの大流行への心配の程度」については、「2009 年に新型インフルエンザが人々の間で大流行したときに、どの程度心配しましたか」という設問に変更されることが決められた。これは、

「2009年に」と時期を限定することで、各チームの調査時期にかかわらず、同じ時点での回答者の心配度合い（心配していた度合い）を測ることが可能となると考えられるためである。なお、これらのインフルエンザに関する設問は、TSCS は含めないとしたため、日本・韓国・中国の3カ国のみでの実施となる。

家族の介護（ケア）についての設問は、プリテストと同じ形式でそのまま挿入することが確認された。

エピソードを用いた精神的健康に関する設問は、プリテストの結果、他の設問よりは若干無回答が多かったが、JGSS ではこの設問を実施することは問題がないと判断した。しかし、もしこの設問の実施が決定された場合には、JGSS 以外の3チームは面接調査でこの設問を尋ねる（調査員がエピソードの文章を読み上げる）ため、回答者が混乱し無回答・回答拒否がより多くなると予想される。また、この設問の提案者である KGSS が、台北会議で提案を取り下げたため、エピソードを用いた設問は、本調査では実施しないことが決定された。

それに代わる新たな設問として、KGSS からの提案を受け、アメリカの GSS 2010 で実施予定の「年をとること（Aging）」に関する（心配事などの）設問のうち、3問を EASS 健康モジュールの中に共通で組み込むことが確認された（なお、JGSS 以外の3チームは、これ以外にも2問を共通で含める）。

表4には、以上の台北会議での議論を経て、最終的に決定された、EASS 2010 健康モジュールのトピックをまとめている。

表4 EASS 2010 Health Module のトピック

	英語	日本語
A	Health Status	健康状態
B	Health Behavior	健康行動
C	Medical Care	医療
D	Medical Insurance/Social Security Insurance	医療保険
E	Alternative Medicine	代替医療
F	Social Support/Social Trust	社会的サポート・信頼
G	Environment	環境
H	Epidemiology	感染症（インフルエンザ）
I	Family Care Need and Care Management	家族のケア
J	Aging	年をとること

5. おわりに

2007年9月に、EASS 2010 のテーマが「健康」と決定されて以来、6回にわたる4チームが参加しての全体会議・作成部会での協議や、各チーム内での協議、電子メールでの多くのやり取りを経て、EASS 2010 の本調査実施に向けた調整が行われた。そして、2010年1月に健康モジュールの調査票の最終的な確定に至った。

EASS に参加している、日本・中国・韓国・台湾の各国・地域では、研究背景や健康についての問題・関心事が異なり、また、韓国と台湾は、EASS と ISSP の健康モジュールを同一の調査票に組み込むために、EASS 2010 健康モジュールの作成過程では、多くの困難が生じ、設問によっては4チームが合意に至るまで、多くの時間と議論を要した。しかしながら、4チームが徹底的に議論を重ねたことで、各国・地域の状況に対応した、より意義のある調査票が完成したものといえるだろう。

社会調査において、「東アジアの健康」が取り上げられることで、社会学・経済学的な視点のみならず、疫学研究においても、東アジア4カ国・地域の代表サンプルを用いた、より幅広い枠組みでの国際比較研究が可能となるものと期待させる。

今後は、2010年2月のJGSSの本調査実施をはじめに、2010年7月にKGSS、9月にCGSS、そして2011年7月にTSCSがそれぞれ本調査を実施する予定である。なお、2012年3月に基礎集計表と

なる EASS 2010 コードブックが刊行され、4 チームの統合データは、2012 年 12 月に EASSDA で公開される予定である。

[注]

- (1) EASS プロジェクトが開始された経緯や、調査票作成のルールと手順については、EASS 2008 のモジュール作成過程を報告した榎木 (2008) および EASS のウェブサイト (<http://www.eass.info/>) に詳しく述べられている。
- (2) SF-12v2 の日本語版は、NPO 法人 健康医療評価研究機構 (iHOPE) とのライセンス契約のもとで使用している。
- (3) (A 票・B 票にかかわらず) 回収したサンプルには、性別 (男性 87 人、女性 103 人、無回答 6 人) や年齢 (表 A1 参照) の著しい偏りは認められなかった。なお、JGSS 第 2 回プリテストの回答者の属性は下記の通りである。
- (4) TSCS は、EASS の健康モジュールの設問ではなく、TSCS 独自の設問を中心にプリテストを実施したため、多くの設問について回答が得られていない。

表 A1 回収サンプル (年齢別)

年齢	東大阪市人口 ^{a)}		回収標本		
	N	比率	有効回答数	期待値	残差 ^{b)}
20-29 歳	56,656	0.14	15	27.1	- 2.32
30-39 歳	77,339	0.19	22	37.0	- 2.46
40-49 歳	68,473	0.17	35	32.7	0.40
50-59 歳	59,837	0.15	43	28.6	2.69
60-69 歳	78,903	0.19	50	37.7	2.00
70-79 歳	49,955	0.12	17	23.9	- 1.41
80-89 歳	19,049	0.05	7	9.1	- 0.70
計	410,212	1.00	189	196.0	0.00
		無回答	7		
		合計	196	100.0	

^{a)} 東大阪市の人口は、2009 年 9 月末日現在

^{b)} 残差 = (有効回答数 - 期待値) ÷ $\sqrt{\text{期待値}}$

JGSS 第 2 回プリテスト・回答者属性


調査票の種類	度数	%	同居者(複数回答可)	度数	%	就業状態	度数	%
A票	97	49.5	配偶者	131	66.8	仕事をした	113	57.7
B票	99	50.5	子ども	99	50.5	仕事をしているが、病気、休暇 などで先週は仕事を休んだ	6	3.1
合計	196	100.0	親	29	14.8	不定期に仕事をしているが、先週 は仕事をしていない	4	2.0
			祖父母	7	3.6	仕事をしていない	65	33.2
			子どもの配偶者	2	1.0	無回答	8	4.1
性別	度数	%	孫	1	0.5	合計	196	100.0
男性	87	44.4	配偶者の親	4	2.0			
女性	103	52.6	その他の親族	3	1.5			
無回答	6	3.1	親族以外の方	3	1.5			
合計	196	100.0	ひとり暮らし	22	11.2			
			無回答	7	3.6			
年齢	度数	%	合計	196	100.0	従業上の地位	度数	%
20~29歳	15	7.7				自営業主・家族従業員	18	9.2
30~39歳	22	11.2	学歴	度数	%	経営者・役員	9	4.6
40~49歳	35	17.9	中学校	30	15.3	正規の職員・社員	44	22.4
50~59歳	43	21.9	高校	82	41.8	公務員	8	4.1
60~69歳	50	25.5	短大・高専	19	9.7	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	30	15.3
70~79歳	17	8.7	専門学校	17	8.7	その他	2	1.0
80歳以上	7	3.6	大学	38	19.4	非該当	65	33.2
無回答	7	3.6	わからない	1	0.5	無回答	20	10.2
合計	196	100.0	無回答	9	4.6	合計	196	100.0
			合計	196	100.0			

[参考文献]

- Babor, T. F., Higgins-Biddle, J. C., Saunders, J. B., and Monteiro, M. G., 2001, *AUDIT: The Alcohol Use Disorders Identification Test: Guidelines for Use in Primary Care*, second edition.
(http://whqlibdoc.who.int/hq/2001/WHO_MSD_MSB_01.6a.pdf, 最終閲覧日: 2010年2月1日)
- 榎木美樹, 2008, 「EASS 2008 Culture Module の作成 JGSS によるプリテストの結果を中心に」『日本版 General Social Surveys 研究論文集』7:195-232.
- 埴淵知哉, 2009, 「EASS 2010 Health Module の作成 JGSS によるプリテストの結果を中心に」『日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集』9: 211-242.
- 望月美栄子・山崎喜比古・菊澤佐江子・的場智子・八巻知香子・杉山克己・坂野純子, 2008, 「こころの病をもつ人々への地域住民のスティグマおよび社会的態度 全国サンプル調査から」『厚生指標』第55巻第15号:6-15.
- Mujahid, M. S., Diez Roux, A. V., Morenoff, J. D., and Raghunathan, T., 2007, “Assessing the Measurement Properties of Neighborhood Scales: From Psychometrics to Econometrics,” *American Journal of Epidemiology*, 165(8):858-867.
- 竹上未紗・福原俊一, 2009, 『SF-36 活用編 誰も教えてくれなかった QOL 活用法 測定結果を研究・診療・政策につなげる』NPO 法人 健康医療評価研究機構 (iHOPE).
- Whipple, M.O., Lewis, T. T., Sutton-Tyrrell, K., Matthews, K. A., Barinas-Mitchell, E., Powell, L. H., and Everson-Rose, S.A., 2009, “Hopelessness, Depressive Symptoms, and Carotid Atherosclerosis in Woman. The Study of Women’s Health Across the Nation (SWAN) Heart Study,” *Stroke*, Aug, 2009.

※JGSS の調査票で用いられている設問を、別の調査で利用することを計画される場合には、必ず事前に JGSS 研究センターまでご相談ください。設問の中には、外部機関のライセンスが必要な設問や、共同研究機関と共同で作成した設問が含まれておりますので、利用を許可できない場合があります。設問の流用により、利用者や第三者に損害や不利益が生じても、当センターでは一切の責任を負いかねます。

付録1 JGSS 第2回プリテスト (B票: EASS 2010 健康モジュール) 調査票



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2009年8月
郵送調査票 (B)

生活と意識に関する 国際比較調査

調査企画・実施：大阪商業大学 JGSS 研究センター

<調査の趣旨と記入方法>

- ・この調査は、生活と意識に関する学術目的の調査です。
あなた様がどのような考えをおもちなのか、簡単な質問でおたずねします。
- ・調査の結果は、統計的に処理されますので、プライバシー等の面でご迷惑をおかけすることは決してございません。どうか調査にご協力下さいませようお願い申し上げます。
- ・お答えは、あてはまる回答の番号 (1 2 3……) を○印で囲んでください。番号を1つだけ選んでいただく場合と、あてはまるものをすべて選んでいただく場合があります。

(記入例) Q6 あなたの性別を教えてください。

① 男性 2 女性

- ・ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。
できるだけ早い時期にご返送いただければ幸いです。
- ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

はじめに、あなたの健康状態についておうかがいします。

Q1 あなたの健康状態は、いかがですか。

	1	2	3	4	5
	最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない

Q2 以下の質問は、日常よく行われている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動を行うことがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。

	とても むずかしい	少し むずかしい	ぜんぜん むずかしくない
--	--------------	-------------	-----------------

A 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど → 1 2 3

B 階段を数階上までのぼる → 1 2 3

Q3 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。

	いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
--	-----	-------------	------	-----	------------

A 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった → 1 2 3 4 5

B 仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあつた → 1 2 3 4 5

Q4 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、心理的な理由で(例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために)、次のような問題がありましたか。

	いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
--	-----	-------------	------	-----	------------

A 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった → 1 2 3 4 5

B 仕事やふだんの活動がいつもほど、集中してできなかった → 1 2 3 4 5

Q5 過去1ヵ月間に、いつもの仕事(家事も含みます)が痛みのために、どのくらい妨げられましたか。

	1	2	3	4	5
	ぜんぜん 妨げられなかった	わずかに 妨げられた	少し 妨げられた	かなり 妨げられた	非常に 妨げられた

1

Q6 次にあげるのは、過去1ヵ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

	いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない
A おちついていて、おだやかな気分でしたか	1	2	3	4	5
B 活力(エネルギー)にあふれていましたか	1	2	3	4	5
C おちこんで、ゆううつな気分でしたか	1	2	3	4	5

Q7 過去1ヵ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、時間的にどのくらい妨げられましたか。

1	2	3	4	5
いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない

Q8 あなたは以下の内容について、どう思いますか。

	強く賛成	賛成	どちらともいえない	反対	強く反対
A 私には将来の希望が持てず、物事がよい方向に行くとは考えられない	1	2	3	4	5
B 私が目指している目標は達成できないだろう	1	2	3	4	5

Q9 過去1ヵ月間に、皮膚のかゆみでどの程度困りましたか。

1	2	3	4	5
まったく困らなかった	すこし困った	困った	かなり困った	ひどく困った

Q10 あなたはこれまでに、医師により高血圧であると診断されたことがありますか。

1	2
はい	いいえ

Q11 あなたはこれまでに、医師によりその他の慢性的な病気があると診断されたことがありますか。

1	2
ある	ない

Q12 あなたの身長を教えてください。

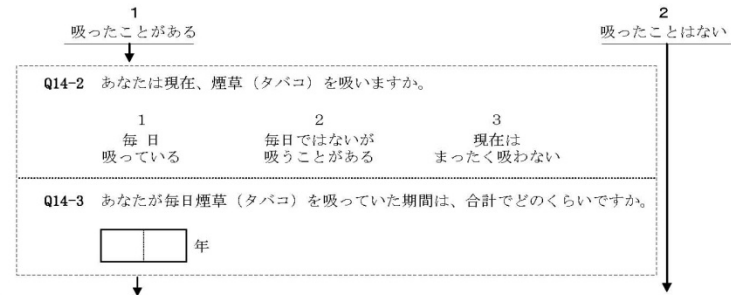
メートル センチ

Q13 あなたの体重を教えてください。(現在、妊娠中の方は、妊娠前の体重をお書きください。)

キログラム

ここからは、あなたの生活習慣についておうかがいします。

Q14-1 あなたは今までに煙草(タバコ)を吸ったことがありますか。



Q15-1 あなたはお酒(アルコール含有飲料)をどのくらいの頻度で飲みますか。

1	2	3	4	5
飲まない	1ヵ月に1回以下	1ヵ月に2~4回	1週間に2~3回	1週間に4回以上

Q15-2 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか。(少数点は切上げてお答えください。)

ただし、日本酒1合=2単位、ビール大瓶1本=2.5単位、缶ビール(500ml)=2単位、缶ビール(350ml)=1.4単位、ウイスキー水割りダブル1杯=2単位、焼酎お湯割り1杯=1単位、ワイングラス1杯=1.5単位、梅酒小コップ1杯=1単位

1	2	3	4	5
1~2単位	3~4単位	5~6単位	7~9単位	10単位以上

Q15-3 1度に6単位以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか。

1	2	3	4	5
ない	1ヵ月に1回未満	1ヵ月に1回	1週間に1回	毎日あるいはほとんど毎日

Q16 あなたは週に何回くらい運動したり汗をかく活動を行ないますか。

1	2	3	4	5	6
まったくしない	週1回未満	週1回	週2~3回	週4~6回	週7回以上

Q17 あなたは過去3年の間に、以下のうちの健康診断を受けましたか。

- | | | | |
|-----------------------|--------|----------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 総合的な健康診断
(人間ドックなど) | 定期健康診断 | 不定期な健康診断 | 受けていない |

ここからは、医療や保険に関することをおうかがいします。

Q18 過去1年間に、あなたはどのくらいの頻度で、病院や診療所（歯医者も含む）に行きましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください。付き添いやお見舞いは除きます。（現在、妊娠中の方は、妊娠前の状況をお書きください。）

- | | | | | | | |
|------------|----------|------------|-----------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ほとんど
毎日 | 週に
数回 | 週に
1回程度 | 4
月に
1回程度 | 5
年に
数回 | 6
年に
1回程度 | 7
まったく
ない |

Q19 ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

- | | | | | | |
|----------------------------------|---|-----------|----------|--------------|-------------|
| | | 非常に
不安 | やや
不安 | あまり
不安はない | 全く
不安はない |
| A 必要ときに医療を受けられない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| B 深刻な病気にかかったときに
医療費を払えない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | |

Q20-1 過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、病院や診療所に行くのを控えた^{ひか}ことがありますか。軽い風邪や、虫歯の場合も含めてお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|-----------------|
| 1 | 2 | 3 |
| 控えた
ことがある | 控えた
ことはない | 病気・ケガは
していない |

Q20-2 それはなぜですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 待ち時間が長い
- 2 費用がかかる
- 3 病院が近くにない
- 4 どの病院に行ったらよいかわからない
- 5 交通手段がない
- 6 病院に行くのは好きではない
- 7 忙しくて時間がない
- 8 病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
- 9 保険が使えない
- 10 その他（ ）

Q21 あなたは、どのような医療保険に入っていますか。

- | | | | | |
|--------------|------------------------|---------------|------------------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 公的医療
保険のみ | 公的医療保険
と民間の医療
保険 | 民間の医療
保険のみ | 医療保険には
入っていない | わからない |

4

Q22 過去1年間にあなたは以下の療法を受けたことがありますか。それぞれについてお答えください。

- | | | | | |
|-----------------|---|----|---|-----|
| A 鍼（灸）…………… | 1 | はい | 2 | いいえ |
| B 漢方薬…………… | 1 | はい | 2 | いいえ |
| C 指圧・マッサージ…………… | 1 | はい | 2 | いいえ |

ここからは、社会の助け合いに関するあなたの経験や考えをおうかがいします。

Q23-1 過去1年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。

- | | | |
|----|-----|----------|
| 1 | 2 | 3 |
| はい | いいえ | 心配事はなかった |

Q23-2 それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 同居家族
- 2 その他の親族
- 3 仕事の同僚
- 4 近所の人
- 5 友人
- 6 その他（具体的に： ）

Q24-1 過去1年間、必要なときに経済的な面で助けてくれた人はいますか。

- | | | |
|----|-----|-----------------------|
| 1 | 2 | 3 |
| はい | いいえ | 経済的な援助を必要
としたことはない |

Q24-2 それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 同居家族
- 2 その他の親族
- 3 仕事の同僚
- 4 近所の人
- 5 友人
- 6 その他（具体的に： ）

（6ページにお進みください）

5

Q25-1 過去1年間、必要なときにその他の手助け（例えば、家事・育児・介護など）をしてくれた人はいますか。

1 はい
2 いいえ
3 手助けを必要としたことはない

Q25-2 それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 同居家族
2 その他の親族
3 仕事の同僚
4 近所の人
5 友人
6 その他（具体的に： ）

Q26 一般的に、人は信用できると思いますか。

1 はい
2 いいえ

ここからは、あなたがお住まいの地域の環境についておうかがいします。

Q27 あなたの日常生活は、次のことからどの程度被害を受けていますか。

	多大な被害がある	多少の被害がある	あまり被害はない	まったく被害はない
A 大気汚染	1	2	3	4
B 水質汚染	1	2	3	4
C 騒音被害	1	2	3	4
D 日照被害	1	2	3	4

Q28 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。

	よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない
A 近所はジョギングや散歩などの運動をするのに適している	1	2	3	4	5
B 近隣地域で新鮮な果物や、野菜がいろいろと手に入る	1	2	3	4	5
C 近所の人、進んで助け合いをしている	1	2	3	4	5
D 近所の人、全体として、互いにうまくつきあっている	1	2	3	4	5
E 近所の人、信頼できる	1	2	3	4	5

6

ここからは、健康問題に関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

Q29 あなたは過去1年の間に、インフルエンザの予防接種を受けましたか。

1 はい
2 いいえ

Q30 あなたは新型インフルエンザが人の間で大流行するのを心配していますか。

1 非常に不安
2 やや不安
3 あまり不安はない
4 全く不安はない

Q31-1 あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方がいますか。（あなたとは別々に暮らしている方も含めてお答えください）

1 いる
2 いない

Q31-2 あなたは、そのご家族の方（方々）のケアを主にしていますか。

1 はい
2 いいえ

Q32 以下に、Aさんの状況について説明した文章があります。あなたは、Aさんがこのような状況に陥った原因はどのようなところにあると感じますか。以下の文章を読んで、A～Gまでの各項目についてお答えください。

ここ数週間、Aさんの気分は落ち込んでいます。朝は悲しい気分で目覚め、その後も一日中気が重いようです。これまでのように日々を楽しむことができず、実際、何も楽しいことがないようにみえます。良いことがあっても、幸せな気持ちにはなりません。ほんのちょっとしたことでもやり遂げるのは難しく、物事に集中するのが困難です。精力も気力もない感じで、普段できたことができないのです。また、Aさんは疲れていると感じているのに、夜眠ることができません。自分ほとんどない役立たずだと感じ、とても弱気になり罪悪感を感じています。Aさんの家族によると、Aさんの食欲は落ち、体重も減っています。Aさんは家族から距離をおいていて、話したいとも思いません。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
A 性格上の問題	1	2	3	4
B 脳の病気・障害	1	2	3	4
C 育ち方	1	2	3	4
D ストレス	1	2	3	4
E 遺伝的な問題	1	2	3	4
F 運命	1	2	3	4
G 偶然（運が悪かった）	1	2	3	4

7

最後に、統計的な整理のために、あなた自身のことについておうかがいします。

Q33 あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

Q34 あなたの年齢はこの中のどれにあてはまりますか。

- 1 20～29 歳 4 50～59 歳 7 80 歳以上
2 30～39 歳 5 60～69 歳
3 40～49 歳 6 70～79 歳

Q35 現在、あなたといっしょに住んでいる方は、どなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 配偶者 7 配偶者の親
2 子ども 8 その他の親族
3 親 9 親族以外の方
4 祖父母
5 子どもの配偶者 10 ひとり暮らし
6 孫

Q36 あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。（○はひとつだけ）

- 1 中学校（旧制小学校）
2 高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）
3 短大・高专
4 専門学校
5 大学（旧制高校・大学）・大学院
6 わからない

（裏面もございます）

Q37-1 先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。あてはまるものに○をつけてください。

- 1 仕事をした 2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ
3 不定期に仕事をしているが、先週は仕事をしていない 4 仕事をしていない

Q37-2 あなたのお仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。複数のお仕事をされている方は主な仕事1つに○をつけてください。

- 1 自営業主・自由業者・家族従業員
2 経営者・役員
3 正規の職員・社員
4 公務員
5 パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣
6 その他（ ）

この調査票のなかで、答えにくかった、分かりづらかった質問や表現がありましたら、お気づきになったことを下の枠内にご自由にお書き下さい。よろしくお願ひします。

長時間のご協力、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、ポストにご投函いただきますよう、お願い申し上げます。

（Q1～7までは下記のライセンス契約の上で使用しています）
SF-12v2™ Health Survey (Standard, Japanese version)
Copyright © 2009 by QualityMetric Incorporated
and Shunichi Fukuhara. All rights reserved.
SF-12v2™ は QualityMetric の登録商標です。

注：プリテスト調査票の Q9 および Q27D は、EASS 2010 健康モジュールの設問ではなく、JGSS のみで実施した設問である。

付録2 JGSS 第2回プリテスト(留置B票:健康モジュール)の結果:度数分布表

	JGSS	CGSS	KGSS	TSCS
健康状態				
Q1. あなたの健康状態は、いかがですか。				
	度数	%	度数	%
1 最高に良い	2	2.0	22	14.7
2 とても良い	16	16.2	29	19.3
3 良い	53	53.5	59	39.3
4 あまり良くない	22	22.2	31	20.7
5 良くない	4	4.0	9	6.0
9 無回答	2	2.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0
Q2. 以下の質問は、日常よく行われている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をするのがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。				
A 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1~2時間散歩するなど				
	度数	%	度数	%
1 とてもむずかしい	9	9.1	5	3.3
2 少しむずかしい	25	25.3	26	17.3
3 ぜんぜんむずかしくない	63	63.6	118	78.7
9 無回答	2	2.0	1	0.7
合計	99	100.0	150	100.0
B 階段を数階上までのぼる				
	度数	%	度数	%
1 とてもむずかしい	9	9.1	8	5.3
2 少しむずかしい	26	26.3	28	18.7
3 ぜんぜんむずかしくない	58	58.6	114	76.0
9 無回答	6	6.1	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0
Q3. 過去1か月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。				
A 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった				
	度数	%	度数	%
1 いつも	4	4.0	2	1.3
2 ほとんどいつも	7	7.1	5	3.3
3 ときどき	16	16.2	26	17.3
4 まれに	24	24.2	28	18.7
5 ぜんぜんない	46	46.5	89	59.3
9 無回答	2	2.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0
B 仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった				
	度数	%	度数	%
1 いつも	5	5.1	1	0.7
2 ほとんどいつも	7	7.1	5	3.3
3 ときどき	15	15.2	20	13.3
4 まれに	24	24.2	36	24.0
5 ぜんぜんない	46	46.5	88	58.7
9 無回答	2	2.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0
Q4. 過去1か月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、心理的な理由で(例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために)、次のような問題がありましたか。				
A 仕事やふだんの活動が思ったほどできなかった				
	度数	%	度数	%
1 いつも	1	1.0	1	0.7
2 ほとんどいつも	4	4.0	3	2.0
3 ときどき	21	21.2	29	19.3
4 まれに	28	28.3	46	30.7
5 ぜんぜんない	43	43.4	71	47.3
9 無回答	2	2.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
B 仕事やふだんの活動がいつもほど、集中してできなかった							
1 いつも	1	1.0	0	0.0	1	2.0	
2 ほとんどいつも	3	3.0	4	2.7	6	11.8	
3 ときどき	26	26.3	24	16.0	18	35.3	
4 まれに	26	26.3	52	34.7	14	27.5	
5 ぜんぜんない	41	41.4	70	46.7	11	21.6	
9 無回答	2	2.0	0	0.0	1	2.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

Q5. 過去1か月間に、いつもの仕事(家事も含みます)が痛みのために、どのくらい妨げられましたか。

	度数	%	度数	%	度数	%
1 ぜんぜん妨げられなかった	49	49.5	109	72.7	2	3.9
2 わずかに妨げられた	19	19.2	24	16.0	5	9.8
3 少し妨げられた	17	17.2	9	6.0	10	19.6
4 かなり妨げられた	9	9.1	6	4.0	14	27.5
5 非常に妨げられた	3	3.0	2	1.3	19	37.3
9 無回答	2	2.0	0	0.0	1	2.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q6. 次にあげるのは、過去1か月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

A おちついていて、おだやかな気分でしたか

	度数	%	度数	%	度数	%
1 いつも	13	13.1	55	36.7	8	15.7
2 ほとんどいつも	48	48.5	76	50.7	19	37.3
3 ときどき	25	25.3	13	8.7	14	27.5
4 まれに	5	5.1	5	3.3	7	13.7
5 ぜんぜんない	4	4.0	1	0.7	3	5.9
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

B 活力(エネルギー)にあふれていましたか

	度数	%	度数	%	度数	%
1 いつも	11	11.1	55	36.7	7	13.7
2 ほとんどいつも	34	34.3	67	44.7	16	31.4
3 ときどき	25	25.3	23	15.3	11	21.6
4 まれに	17	17.2	5	3.3	14	27.5
5 ぜんぜんない	8	8.1	0	0.0	3	5.9
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

C おちこんで、ゆううつな気分でしたか

	度数	%	度数	%	度数	%
1 いつも	0	0.0	0	0.0	3	5.9
2 ほとんどいつも	5	5.1	3	2.0	6	11.8
3 ときどき	27	27.3	23	15.3	16	31.4
4 まれに	30	30.3	65	43.3	13	25.5
5 ぜんぜんない	33	33.3	59	39.3	13	25.5
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q7. 過去1か月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、時間的にどのくらい妨げられましたか。

	度数	%	度数	%	度数	%
1 いつも	2	2.0	2	1.3	1	2.0
2 ほとんどいつも	6	6.1	1	0.7	7	13.7
3 ときどき	15	15.2	15	10.0	9	17.6
4 まれに	28	28.3	28	18.7	15	29.4
5 ぜんぜんない	46	46.5	104	69.3	19	37.3
9 無回答	2	2.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

	JGSS	CGSS	KGSS	TSCS
Q8. あなたは以下の内容について、どう思いますか。				
A 私には将来の希望が持てず、物事がよい方向に行くとは考えられない				
5点尺度	度数 %	度数 %		度数 %
1 強く賛成	3 3.0	1 0.7		13 10.4
2 賛成	11 11.1	7 4.7		15 12.0
3 どちらともいえない	51 51.5	20 13.3		2 1.6
4 反対	19 19.2	27 18.0		41 32.8
5 強く反対	12 12.1	95 63.3		47 37.6
9 無回答	3 3.0	0 0.0		7 5.6
合計	99 100.0	150 100.0		125 100.0
7点尺度	度数 %		度数 %	
1 強く賛成	4 4.1		1 2.0	
2 賛成	5 5.2		1 2.0	
3 どちらかといえば賛成	13 13.4		6 11.8	
4 どちらともいえない	39 40.2		10 19.6	
5 どちらかといえば反対	21 21.6		5 9.8	
6 反対	8 8.2		7 13.7	
7 強く反対	4 4.1		21 41.2	
9 無回答	3 3.1		0 0.0	
合計	97 100.0		51 100.0	
B 私が目指している目標は達成できないだろう				
5点尺度	度数 %	度数 %		度数 %
1 強く賛成	1 1.0	4 2.7		15 12.0
2 賛成	9 9.1	6 4.0		15 12.0
3 どちらともいえない	55 55.6	27 18.0		3 2.4
4 反対	21 21.2	45 30.0		46 36.8
5 強く反対	9 9.1	67 44.7		40 32.0
9 無回答	4 4.0	1 0.7		6 4.8
合計	99 100.0	150 100.0		125 100.0
7点尺度	度数 %		度数 %	
1 強く賛成	2 2.1		1 2.0	
2 賛成	6 6.2		2 3.9	
3 どちらかといえば賛成	8 8.2		6 11.8	
4 どちらともいえない	43 44.3		5 9.8	
5 どちらかといえば反対	18 18.6		8 15.7	
6 反対	11 11.3		10 19.6	
7 強く反対	5 5.2		19 37.3	
9 無回答	4 4.1		0 0.0	
合計	97 100.0		51 100.0	
Q9. 過去1ヵ月間に、皮膚のかゆみでどの程度困りましたか。(JGSSのみ)				
	度数 %			
1 まったく困らなかった	53 53.5			
2 すこし困った	32 32.3			
3 困った	6 6.1			
4 かなり困った	3 3.0			
5 ひどく困った	2 2.0			
9 無回答	3 3.0			
合計	99 100.0			
Q10. あなたはこれまでに、医師により高血圧であると診断されたことがありますか。				
	度数 %	度数 %	度数 %	
1 はい	32 32.3	29 19.3	11 21.6	
2 いいえ	65 65.7	121 80.7	40 78.4	
9 無回答	2 2.0	0 0.0	0 0.0	
合計	99 100.0	150 100.0	51 100.0	
Q11. あなたはこれまでに、医師によりその他の慢性的な病気があると診断されたことがありますか。				
	度数 %	度数 %	度数 %	
1 ある	42 42.4	31 20.7	18 35.3	
2 ない	55 55.6	119 79.3	33 64.7	
9 無回答	2 2.0	0 0.0	0 0.0	
合計	99 100.0	150 100.0	51 100.0	

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
Q12. あなたの身長を教えてください。	度数	%	度数	%	度数	%	
1 150cm未満	3	3.0	1	0.7	0	0.0	
2 150 ~ 159cm	34	34.3	33	22.0	16	31.3	
3 160 ~ 169cm	33	33.3	57	38.0	12	23.7	
4 170 ~ 179cm	19	19.2	52	34.7	19	37.3	
5 180cm以上	8	8.1	7	4.7	4	8.0	
9 無回答	2	2.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

Q13. あなたの体重を教えてください。(現在、妊娠中の方は、妊娠前の体重をお書きください。)

	度数	%	度数	%	度数	%
1 50kg未満	14	14.1	10	6.7	7	13.8
2 50 ~ 59kg	31	31.3	20	13.3	15	29.6
3 60 ~ 69kg	28	28.3	44	29.3	14	27.5
4 70 ~ 79kg	14	14.1	49	32.7	10	19.8
5 80kg以上	7	7.1	27	18.0	5	10.0
9 無回答	5	5.1	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

健康行動

Q14-1. あなたは今までに煙草(タバコ)を吸ったことがありますか。

	度数	%	度数	%	度数	%
1 吸ったことがある	59	59.6	64	42.7	21	41.2
2 吸ったことはない	37	37.4	86	57.3	30	58.8
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q14-2. あなたは現在、煙草(タバコ)を吸いますか。

	度数	%	度数	%	度数	%
1 毎日吸っている	26	26.3	50	33.3	3	5.9
2 毎日ではないが吸うことがある	5	5.1	6	4.0	4	7.8
3 現在はまったく吸わない	29	29.3	8	5.3	14	27.5
8 非該当	37	37.4	86	57.3	30	58.8
9 無回答	2	2.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q14-3. あなたが毎日煙草(タバコ)を吸っていた期間は、合計でどのくらいですか

	度数	%	度数	%	度数	%
1 10年未満	12	12.1	19	12.7	1	2.0
2 10 ~ 19年	7	7.1	11	7.3	2	3.9
3 20 ~ 29年	11	11.1	13	8.7	0	0.0
4 30 ~ 39年	8	8.1	10	6.7	1	2.0
5 40 ~ 49年	17	17.2	0	0.0	0	0.0
6 50年以上	3	3.0	3	2.0	0	0.0
88 非該当	37	37.4	93	62.0	47	92.2
99 無回答	4	4.0	1	0.7	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q15-1. あなたはお酒(アルコール含有飲料)をどのくらいの頻度で飲みますか。

	度数	%	度数	%	度数	%
1 飲まない	39	39.4	80	53.3	18	35.3
2 1か月に1回以下	9	9.1	26	17.3	12	23.5
3 1か月に2~4回	6	6.1	23	15.3	12	23.5
4 1週間に2~3回	8	8.1	11	7.3	6	11.8
5 1週間に4回以上	35	35.4	10	6.7	2	3.9
9 無回答	2	2.0	0	0.0	1	2.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
Q15-2. 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか。(少数点は切上げてお答えください。)							
1 1~2単位	33	33.3	53	35.3	11	21.6	
2 3~4単位	12	12.1	7	4.7	9	17.6	
3 5~6単位	9	9.1	3	2.0	7	13.7	
4 7~9単位	2	2.0	0	0.0	3	5.9	
5 10単位以上	1	1.0	0	0.0	2	3.9	
8 非該当	39	39.4	80	53.3	18	35.3	
9 無回答	3	3.0	7	4.7	1	2.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
Q15-3. 1度に6単位以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか。							
1 ない	25	25.3	54	36.0	0	0.0	
2 1か月に1回未満	10	10.1	8	5.3	19	37.3	
3 1か月に1回	9	9.1	1	0.7	6	11.8	
4 1週間に1回	5	5.1	0	0.0	5	9.8	
5 毎日あるいはほとんど毎日	8	8.1	0	0.0	2	3.9	
8 非該当	39	39.4	80	53.3	18	35.3	
9 無回答	3	3.0	7	4.7	1	2.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
Q16. あなたは週に何回くらい運動したり汗をかく活動を行ないますか。							
1 まったくしない	22	22.2	24	16.0	20	39.2	
2 週1回未満	18	18.2	11	7.3	9	17.6	
3 週1回	11	11.1	19	12.7	2	3.9	
4 週2~3回	20	20.2	32	21.3	9	17.6	
5 週4~6回	16	16.2	29	19.3	6	11.8	
6 週7回以上	6	6.1	34	22.7	5	9.8	
9 無回答	6	6.1	1	0.7	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
Q17. あなたは過去3年の間に、以下のうちどの健康診断を受けましたか。							
1 総合的な健康診断 (人間ドックなど)	16	16.2	35	23.3	18	35.3	
2 定期健康診断	43	43.4	67	44.7	13	25.5	
3 不定期な健康診断	19	19.2	17	11.3	8	15.7	
4 受けていない	23	23.2	31	20.7	12	23.5	
9 無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

医療・保険

Q18. 過去1年間に、あなたはどのくらいの頻度で、病院や診療所(歯医者も含む)に行きましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください。付き添いやお見舞いは除きます。(現在、妊娠中の方は、妊娠前の状況をお書きください。)

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
1 ほとんど毎日	1	1.0	0	0.0	0	0.0	
2 週に数回	3	3.0	0	0.0	2	3.9	
3 週に1回程度	10	10.1	1	0.7	3	5.9	
4 月に1回程度	28	28.3	19	12.7	6	11.8	
5 年に数回	31	31.3	33	22.0	27	52.9	
6 年に1回程度	11	11.1	31	20.7	7	13.7	
7 まったくない	14	14.1	66	44.0	6	11.8	
9 無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

Q19. ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

A 必要なときに医療を受けられない

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
1 非常に不安	10	10.1	40	26.7	9	17.6	
2 やや不安	30	30.3	52	34.7	12	23.5	
3 あまり不安はない	38	38.4	38	25.3	17	33.3	
4 全く不安はない	20	20.2	20	13.3	13	25.5	
9 無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
B 深刻な病気にかかったときに医療費を払えない							
	度数	%	度数	%	度数	%	
1 非常に不安	22	22.2	75	50.0	7	13.7	
2 やや不安	35	35.4	35	23.3	16	31.4	
3 あまり不安はない	26	26.3	22	14.7	15	29.4	
4 全く不安はない	15	15.2	18	12.0	13	25.5	
9 無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

Q20-1. 過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、病院や診療所に行くのを控えたことがありますか。軽い風邪や、虫歯の場合も含めてお答えください。

	度数	%	度数	%	度数	%
1 控えたことがある	44	44.4	37	24.7	31	60.8
2 控えたことはない	40	40.4	62	41.3	20	39.2
3 病気・ケガはしていない	14	14.1	51	34.0	0	0.0
9 無回答	1	1.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q20-2. それはなぜですか。

	あてはまるもの1つに○		あてはまるものすべてに○			
	度数	%	度数	%	度数	%
1 待ち時間が長い	5	5.1	11	7.3	4	7.8
2 費用がかかる	10	10.1	12	8.0	7	13.7
3 病院が近くにない	0	0.0	1	0.7	1	2.0
4 どの病院に行ったらよいかわからない	1	1.0	0	0.0	2	3.9
5 交通手段がない	0	0.0	2	1.3	1	2.0
6 病院に行くのは好きではない	5	5.1	13	8.7	12	23.5
7 忙しくて時間がない	4	4.0	3	2.0	15	29.4
8 病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	15	15.2	16	10.7	11	21.6
9 保険が使えない	1	1.0	1	0.7	1	2.0
10 その他	1	1.0	10	6.7	4	7.8
88 非該当	54	54.5	113	75.3	20	39.2
99 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q21. あなたは、どのような医療保険に入っていますか。

	度数	%	度数	%	度数	%
1 公的医療保険のみ	38	38.4	114	76.0	24	47.1
2 公的医療保険と民間の医療保険	34	34.3	21	14.0	22	43.1
3 民間の医療保険のみ	12	12.1	1	0.7	4	7.8
4 医療保険には入っていない	7	7.1	13	8.7	0	0.0
5 わからない	5	5.1	1	0.7	0	0.0
9 無回答	3	3.0	0	0.0	1	2.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q22. 過去1年間にあなたは以下の療法を受けたことがありますか。それぞれについてお答えください。

A 鍼(灸)

	度数	%	度数	%	度数	%
1 はい	10	10.1	20	13.3	14	27.5
2 いいえ	82	82.8	130	86.7	37	72.5
9 無回答	7	7.1	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

B 漢方薬

	度数	%	度数	%	度数	%
1 はい	8	8.1	20	13.3	12	23.5
2 いいえ	82	82.8	130	86.7	39	76.5
9 無回答	9	9.1	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

C 指圧・マッサージ

	度数	%	度数	%	度数	%
1 はい	27	27.3	9	6.0	10	19.6
2 いいえ	67	67.7	141	94.0	41	80.4
9 無回答	5	5.1	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

	JGSS	CGSS	KGSS	TSCS
社会的サポート・信頼				

Q23-1. 過去1年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。

	JGSS		CGSS		KGSS	
	度数	%	度数	%	度数	%
1 はい	64	64.6	85	56.7	45	88.2
2 いいえ	10	10.1	34	22.7	6	11.8
3 心配事はなかった	22	22.2	31	20.7	0	0.0
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q23-2. それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	JGSS		CGSS		KGSS	
	度数	%	度数	%	度数	%
1 同居家族	48	48.5	44	29.3	41	80.4
2 その他の親族	20	20.2	7	4.7	16	31.4
3 仕事の同僚	18	18.2	16	10.7	10	19.6
4 近所の人	4	4.0	11	7.3	4	7.8
5 友人	37	37.4	42	28.0	28	54.9
6 その他	3	3.0	1	0.7	3	5.9
8 非該当	32	32.3	65	43.3	7	13.7
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q24-1. 過去1年間、必要なときに経済的な面で助けてくれた人はいますか。

	JGSS		CGSS		KGSS	
	度数	%	度数	%	度数	%
1 はい	24	24.2	46	30.7	30	58.8
2 いいえ	18	18.2	36	24.0	20	39.2
3 経済的な援助を必要としたことはない	55	55.6	68	45.3	1	2.0
9 無回答	2	2.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q24-2. それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	JGSS		CGSS		KGSS	
	度数	%	度数	%	度数	%
1 同居家族	15	15.2	10	6.7	26	51
2 その他の親族	11	11.1	20	13.3	7	13.7
3 仕事の同僚	1	1.0	30	20.0	1	2.0
4 近所の人	0	0.0	0	0.0	2	3.9
5 友人	2	2.0	22	14.7	11	21.6
6 その他	0	0.0	5	3.3	2	3.9
8 非該当	73	73.7	104	69.3	19	37.3
9 無回答	2	2.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q25-1. 過去1年間、必要なときにその他の手助け(例えば、家事・育児・介護など)をしてくれた人はいますか。

	JGSS		CGSS		KGSS	
	度数	%	度数	%	度数	%
1 はい	42	42.4	45	30.0	25	49
2 いいえ	12	12.1	43	28.7	23	45.1
3 手助けを必要としたことはない	42	42.4	62	41.3	3	5.9
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q25-2. それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	JGSS		CGSS		KGSS	
	度数	%	度数	%	度数	%
1 同居家族	30	30.3	28	18.7	18	35.3
2 その他の親族	18	18.2	11	7.3	5	9.8
3 仕事の同僚	1	1.0	1	0.7	1	2.0
4 近所の人	1	1.0	1	0.7	4	7.8
5 友人	7	7.1	7	4.7	5	9.8
6 その他	3	3.0	4	2.7	0	0.0
8 非該当	54	54.5	105	70.0	26	51
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

Q26. 一般的に、人は信用できると思いますか。

	JGSS		CGSS		KGSS	
	度数	%	度数	%	度数	%
1 はい	75	75.8	128	85.3	38	74.5
2 いいえ	21	21.2	22	14.7	13	25.5
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

	JGSS	CGSS	KGSS	TSCS
環境				

Q27. あなたの日常生活は、次のことからどの程度被害を受けていますか。

A 大気汚染

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1 多大な被害がある	2	2.0	14	9.3	14	27.5	6	4.8
2 多少の被害がある	31	31.3	57	38.0	18	35.3	26	20.8
3 あまり被害はない	41	41.4	64	42.7	16	31.4	70	56.0
4 まったく被害はない	21	21.2	15	10.0	3	5.9	21	16.8
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	125	100.0

B 水質汚染

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1 多大な被害がある	7	7.1	6	4.0	7	13.7	11	8.8
2 多少の被害がある	14	14.1	32	21.3	16	31.4	18	14.4
3 あまり被害はない	43	43.4	67	44.7	26	51	69	55.2
4 まったく被害はない	30	30.3	45	30.0	2	3.9	23	18.4
9 無回答	5	5.1	0	0.0	0	0.0	4	3.2
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	125	100.0

C 騒音被害

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1 多大な被害がある	6	6.1	17	11.3	14	27.5	14	11.2
2 多少の被害がある	30	30.3	59	39.3	17	33.3	41	32.8
3 あまり被害はない	37	37.4	61	40.7	18	35.3	48	38.4
4 まったく被害はない	22	22.2	13	8.7	2	3.9	21	16.8
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	125	100.0

D 日照被害 (JGSSのみ)

	度数	%
1 多大な被害がある	3	3.0
2 多少の被害がある	14	14.1
3 あまり被害はない	46	46.5
4 まったく被害はない	32	32.3
9 無回答	4	4.0
合計	99	100.0

Q28. あなたの家から1キロ(徒歩15分程度)以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。

A 近所はジョギングや散歩などの運動をするのに適している

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1 よくあてはまる	11	11.1	20	13.3	26	51	40	32.0
2 あてはまる	35	35.4	84	56.0	18	35.3	48	38.4
3 どちらともいえない	26	26.3	21	14.0	3	5.9	2	1.6
4 あてはまらない	17	17.2	23	15.3	2	3.9	25	20.0
5 まったくあてはまらない	6	6.1	2	1.3	2	3.9	10	8.0
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	125	100.0

B 近隣地域で新鮮な果物や、野菜がいろいろと手に入る

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1 よくあてはまる	9	9.1	48	32.0	15	29.4	54	43.2
2 あてはまる	43	43.4	85	56.7	17	33.3	48	38.4
3 どちらともいえない	28	28.3	11	7.3	8	15.7	0	0.0
4 あてはまらない	6	6.1	6	4.0	7	13.7	17	13.6
5 まったくあてはまらない	9	9.1	0	0.0	4	7.8	5	4.0
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	125	100.0

C 近所の人、進んで助け合いをしている

	度数	%	度数	%	度数	%
1 よくあてはまる	2	2.0	19	12.7	7	13.7
2 あてはまる	22	22.2	82	54.7	12	23.5
3 どちらともいえない	47	47.5	44	29.3	17	33.3
4 あてはまらない	15	15.2	4	2.7	9	17.6
5 まったくあてはまらない	7	7.1	1	0.7	6	11.8
9 無回答	6	6.1	0	0.0	0	0.0
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
D 近所の人は、全体として、互いにうまくつきあっている	度数	%	度数	%	度数	%	
1 よくあてはまる	3	3.0	23	15.3	10	19.6	
2 あてはまる	39	39.4	103	68.7	15	29.4	
3 どちらともいえない	40	40.4	21	14.0	14	27.5	
4 あてはまらない	10	10.1	2	1.3	5	9.8	
5 まったくあてはまらない	2	2.0	0	0.0	6	11.8	
9 無回答	5	5.1	1	0.7	1	2.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

E 近所の人は信頼できる	度数	%	度数	%	度数	%	
1 よくあてはまる	2	2.0	17	11.3	7	13.7	
2 あてはまる	32	32.3	95	63.3	12	23.5	
3 どちらともいえない	48	48.5	36	24.0	19	37.3	
4 あてはまらない	9	9.1	2	1.3	8	15.7	
5 まったくあてはまらない	3	3.0	0	0.0	4	7.8	
9 無回答	5	5.1	0	0.0	1	2.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

健康問題

Q29. あなたは過去1年の間に、インフルエンザの予防接種を受けましたか。	度数	%	度数	%	度数	%	
1 はい	32	32.3	24	16.0	4	7.8	
2 いいえ	64	64.6	126	84.0	47	92.2	
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

Q30. あなたは新型インフルエンザが人の間で大流行するのを心配していますか。	度数	%	度数	%	度数	%	
1 非常に不安	17	17.2	60	40.0	20	39.2	
2 やや不安	49	49.5	70	46.7	14	27.5	
3 あまり不安はない	29	29.3	17	11.3	14	27.5	
4 全く不安はない	1	1.0	3	2.0	3	5.9	
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

Q31-1. あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方がいますか。(あなたとは別々に暮らしている方も含めてお答えください)

	度数	%	度数	%	度数	%	
1 いる	29	29.3	41	27.3	14	27.5	
2 いない	67	67.7	109	72.7	37	72.5	
9 無回答	3	3.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

Q31-2. あなたは、そのご家族の方(方々)のケアを主にしていますか。	度数	%	度数	%	度数	%	
1 はい	14	14.1	18	12.0	5	9.8	
2 いいえ	14	14.1	24	16.0	9	17.6	
8 非該当	67	67.7	109	72.7	37	72.5	
9 無回答	4	4.0	0	0.0	0	0.0	
合計	99	100.0	150	100.0	51	100.0	

精神的健康

Q32. Vignette

A 性格上の問題	度数	%	度数	%	度数	%	
1 そう思う	43	43.4	28	18.7	6	11.8	
2 どちらかといえばそう思う	86	86.0	72	48.0	25	49.0	
3 どちらかといえばそう 思わない	28	28.3	35	23.3	9	17.6	
4 そう思わない	27	27.3	15	10.0	10	19.6	
9 無回答	12	12.1	0	0.0	1	2.0	
合計	196	196.0	150	100.0	51	100.0	

	JGSS		CGSS		KGSS		TSCS
	度数	%	度数	%	度数	%	
B 脳の病気・障害							
1 そう思う	13	6.6	29	19.3	10	19.6	
2 どちらかといえばそう思う	43	21.9	70	46.7	20	39.2	
3 どちらかといえばそう 思わない	54	27.6	33	22.0	9	17.6	
4 そう思わない	69	35.2	18	12.0	11	21.6	
9 無回答	17	8.7	0	0.0	1	2.0	
合計	196	100.0	150	100.0	51	100.0	
C 育ち方							
1 そう思う	21	10.7	21	14.0	16	31.4	
2 どちらかといえばそう思う	41	20.9	70	46.7	28	54.9	
3 どちらかといえばそう 思わない	65	33.2	39	26.0	4	7.8	
4 そう思わない	49	25.0	18	12.0	3	5.9	
9 無回答	20	10.2	2	1.3	0	0.0	
合計	196	100.0	150	100.0	51	100.0	
D ストレス							
1 そう思う	89	45.4	66	44.0	38	74.5	
2 どちらかといえばそう思う	76	38.8	75	50.0	11	21.6	
3 どちらかといえばそう 思わない	11	5.6	5	3.3	0	0.0	
4 そう思わない	6	3.1	4	2.7	2	3.9	
9 無回答	14	7.1	0	0.0	0	0.0	
合計	196	100.0	150	100.0	51	100.0	
E 遺伝的な問題							
1 そう思う	2	1.0	20	13.3	4	7.8	
2 どちらかといえばそう思う	20	10.2	46	30.7	19	37.3	
3 どちらかといえばそう 思わない	62	31.6	42	28.0	16	31.4	
4 そう思わない	95	48.5	42	28.0	10	19.6	
9 無回答	17	8.7	0	0.0	2	3.9	
合計	196	100.0	150	100.0	51	100.0	
F 運命							
1 そう思う	8	4.1	3	2.0	1	2.0	
2 どちらかといえばそう思う	15	7.7	18	12.0	2	3.9	
3 どちらかといえばそう 思わない	39	19.9	36	24.0	8	15.7	
4 そう思わない	119	60.7	91	60.7	39	76.5	
9 無回答	15	7.7	2	1.3	1	2.0	
合計	196	100.0	150	100.0	51	100.0	
G 偶然(運が悪かった)							
1 そう思う	5	2.6	15	10.0	0	0.0	
2 どちらかといえばそう思う	26	13.3	40	26.7	10	19.6	
3 どちらかといえばそう 思わない	49	25.0	46	30.7	10	19.6	
4 そう思わない	101	51.5	49	32.7	30	58.8	
9 無回答	15	7.7	0	0.0	1	2.0	
合計	196	100.0	150	100.0	51	100.0	